

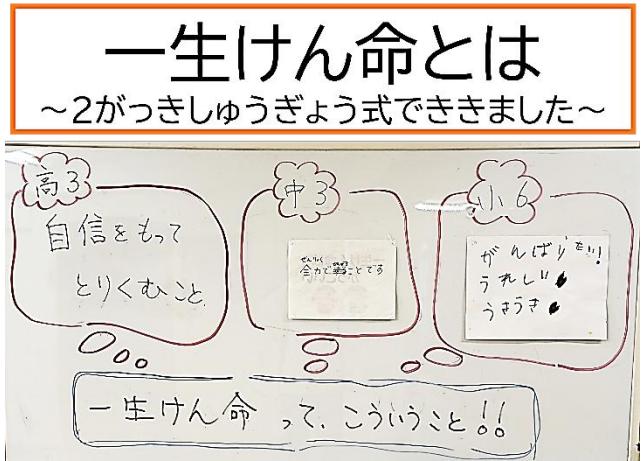


令和8年1月16 日本校
チームたかとく・はくれい
「なかよく学び すすんで働く」「希望・意欲・自立」
子どもの育成を目指して -本校 職員会議資料⑯-
～自分のできることで、まわりの人を笑顔にしよう!幸せにしよう!～



上松 武

■子どもたちの「一生懸命な姿」を大切に～3学期始業式の話から～



・3学期の始業式では、各学部の最高学年の代表児童生徒が述べてくれた一生懸命な姿をあらためて全校の児童生徒に伝えました。そして、一生懸命に、かつてよく、いろいろな学習活動に取り組んでいきましょうと話を終えました。

(左スライド参照)

小6:がんばりたい！うれしい うきうき

中3:全力でがんばることです

高3:自信をもってとりくむこと

・どんな一生懸命な姿を見ることができるのか、

3学期も157名の子どもたちに期待が膨らみます。

■令和8年 貢献と発信～教室で学び、地域で生かし、地域を変える～【再掲】

- ・来年度の学校経営方針の柱にしたいと考えており、前号の内容を再度掲載しました。
- ・「地域を変える」と実現不可能に思えることを掲げましたが、この想いは一緒に働く先生方と共に強く持ち続けていきたいと考え、いつでも意識できるよう文字に表しました。
- ・大きな変化は小さな気付きやちょっとした心配りの積み重ねの結果だと考えています。子どもたちが考えた「一生懸命な姿」のように、いつもウキウキ楽しく、全力で、自信をもって、様々なことに挑戦していきましょう。

○地域へ貢献

- ・子どもたちの日々の学びが教室（学校）で留まるのではなく、日常の生活や地域のために生かす授業づくりに広げてこそ、「生涯に渡る確かな学び」につながります。
- ・地域で生かす学習活動を通じて、地域の人たちの間に障がいのある人たちへの理解が進み広がり、地域の人たちが関わり方を考えたり工夫したり、逆に学ぼうしたりするのではないかと期待が膨らみます。地域へ貢献することで、誰もが自分らしく生活できる「まち」に変わっていくことを目指しましょう。

○地域へ発信

- ・また、地域の人たちから学校に足を運んでいただく機会を今よりも少しづつ多くしていき、児童生徒が学んでいる姿や先生方の指導支援の工夫を知ってもらう取組も進めたいと考えています。
- ・関係者向け学校説明会や学校紹介・作品展への参加など、児童生徒が自分と向き合って頑張っている姿や、日々試行錯誤し研鑽に励んでいる先生方の姿を多くの人に知ってもらう発信をしなければなりません。このような発信によって、誰にとっても優しい「まち」に変えていきましょう。

○来年度の学校経営方針案

- ・子どもたちの学びが教室での学びで終わることなく、地域を少しでも良くしていこうと

いう貢献につなげていきましょう。このような学びを障がいのある人たちが一生懸命に取り組んでいることを発信していきましょう。

- ・令和7年度3学期は、令和8年度の0学期です。「貢献」と「発信」を柱に据え、お互いを思いやり支え合い、働きがいのある職場になるよう学校経営をしていきます。そして、来年度も「学校づくりは、まちづくり」を目指していきましょう。

■学校評価の結果から

- ・本日の職員会議で年間の学校評価の結果が説明されます。先生方全員や保護者の皆様が子どもたちの学習内容や学習環境を今よりもよくしていこうという考えが、この学校評価の結果に表れています。どのような評価も真摯に受け止め、正すところは正し、よいところは磨きをかけていくよう対応していきます。
- ・学校たより臨時号で学校評価の結果と総括を公表しますが、ここでは気になる項目をいくつか紹介します。

【全職員】運営活動に関する評価

評価項目	R7 年間	R7 中間
ウ) ICT を活用し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりを行った	2.95	2.92
カ) 教育相談や当校への進学・転入に関わる授業体験、説明会等を実施し、特別支援教育への理解を図った	3.14	3.04
ケ) 特別支援教育や当校児童生徒への地域の理解を深めるため、広報活動や交流活動等を積極的に行った	3.19	3.09
シ) 学校の施設や設備などの教育環境は、よく整えられている	2.69	2.74

※エ) オ) ケ) と同じ評価点であったが、CやDの評価が多いため、ケ) を掲載した。

【保護者】運営活動に関する評価

評価項目	R7	R6
キ) 学校は、交流及び共同学習や居住地校交流（小・中学部のみ）の実施、地域資源の活用を積極的に行っている	3.49	3.45
コ) 学校の施設や設備などの教育環境は、よく整えられている	3.24	3.11

- ・特に全職員のシ) や保護者のコ) については、教室数や駐車場、トイレに関して改善策などを多く指摘いただいた。この4月に10年ぶりに当校の勤務となって、校舎の構造はもちろん、教室の増設や駐車場に関する課題はそう簡単に解決できることではないと痛感しました。
- ・しかしながら、今後とも「ここで学ぶ子どもたちが学びやすくなり、豊かな人生を送るために必要な力を身に付けることができる」ということを第一に考えて、意見や改善策・改良策を挙げていただくようお願いします。

【各学部や寄宿舎】職員アンケートの記述

「よいと思われる点：◎」と「このようにしたらもっとよくなる点：△」

- ◎人間関係がよく、話しやすい雰囲気がある。
- ◎あたたかい雰囲気で、困ったことがあったらすぐに相談できる。
- ◎学級を超えて子どもたちの支援にあたり、課題を共有している。
- ◎学校では把握しにくい生活実態などをとらえて指導しており、学校で教育活動にも生かせる。
- △個に応じた支援を進めるための教材がたくさんあるので、みんなで活用できるようになったらよい。
- △子どもたちの課題をもっと広く共有できる時間があると、指導支援の質が今よりも向上すると思う。このような時間の確保が必要だと思う。
- △様々な会議において、今よりも意見が出やすい雰囲気や進め方が必要だと思う。

- 当校で学ぶ子どもたちが日々の学習を通して、○できることが増えて、自分に自信をもつこと、○できることを日常の生活や地域に生かし、自分の生活が潤うこと、○自分が暮らしている地域が少しでも暮らしやすくなるように貢献すること、これらの実現に向けた教育活動の実践を私たちの使命と自覚して、さらにこの学校の存在意義と自覚して、「学校づくり」を推進していきましょう。

■「個別の指導計画」とは～改善に向けた検討協議の前に～

- 前号で、第2回おしゃべり会で話し合っていた個別の指導計画についての改善点や今後の対応をお知らせしました。
- 実際の検討協議は、今年度内から開始します。主事主任会に若干のメンバーを加えた「拡大主事主任会」を構成し、年度内に検討協議をスタートします。
- 拡大主事主任会での検討協議を、各学部で報告し意見集約します。各学部の意見等を参考に再度拡大主事主任会で検討協議します。このやり取りを繰り返しながら、改善を進めていく予定です。実行可能となったことから隨時取り組んでいきます。
- 「個別の指導計画」について、再度確認します。

学習指導要領解説「総則編」

個別の指導計画は、個々の児童の実態に応じて 適切な指導を行うために学校で作成されるものである。個別の指導計画は、教育課程を具体化し、障害のある児童など一人一人の指導目標、指導内容及び指導方法を明確にして、きめ細やかに指導するために作成するものである。

- 当校の中学校部の個別の指導計画の様式です。小学部や高等部の様式との相違点は、教科等の項目やコース別（高等部）であったりする点です。

令和7年度 個別の指導計画 兼 家庭連絡簿（1ページ）						
中学部	〇年〇組	氏名	〇〇 〇〇	作成者	担任全員の氏名を記入	
自立活動 長期目標 (年間目標)	(1) 41字×2行 *学校生活全体の「自立活動」の目標を記入 (2)					
長期目標設定の理由	(1) あああああ ああああ <u>41字×8行</u> (2)					
	(1) 41字×2行 (2)					
	短期目標	(1) 41字×2行 (2)				
		(1) 41字×4行 ○目標・評価の主語は生徒 ○手立ての主語は教師 (2)				
前期	手立て	41字×8行				
		(1) 41字×4行 (2)				
	評価	(1) 41字×8行 (2)				
		(1) 41字×4行 (2)				
後期	手立て	41字×2行 (1) (2)				
		(1) 41字×4行 (2)				
	総合的な学習の時間 後期及び年間の評価	(1) 41字×8行 (2)				

令和7年度 個別の指導計画 兼 家庭連絡簿【前期】（2ページ）					
中学部	〇年〇組	氏名	〇〇 〇〇		
日常生活の指導	〇	・ああああ ああああ	20字×5行		
	目標・手立て記入 《確認》目標について ・目標は1つ ・「～できる。」の表現は使用しない			《確認》評価について 3観点を評価して記入する。	
	〇国語	・	20字×10行	国語	5
個別の学習	〇数学	目標・手立て記入 ※国語、数学を記入 ※重複障害学級在籍生徒の「指導要録」には、国語、数学の記述はしないが、ここには記入する			3観点
	20字×10行	国語	5		
生活単元学習	〇	・	20字×10行	数学	5
	目標・手立て記入 《確認》目標について ・前期・後期のどちらかに「社会」、「理科」の目標・手立てが入るようにする。 ⇒指導要録に反映させる			3観点	
	1年 【清里中学校との交流会】 〇 2、3年 ※斜線	20字×5行			
・前期は1年生のみ 清里中学校との交流会について ・2、3年生は斜線を引く。			3観点		

令和7年度 個別の指導計画 兼 家庭連絡簿【前期】(3ページ)			
中学部	〇年〇組	氏名	〇〇 〇〇
指導 場面	目 標	手 立 て	評 価
作業学習(〇〇選)	○	目標・手立て記入 《確認》目標について ・目標は2つ。 意欲や態度に関するもの 具体的な量や枚数などに関する 技能的なもの	20字×10行 3観点
	○		3観点
音楽	○	目標・手立て記入 《確認》目標について ・目標は2つ。 ・前・後期で5つの内容(歌唱・器楽・ 身体表現・音楽作り・鑑賞)がバラ ンスよく入るようにする。	20字×10行 3観点
	○		3観点
美術	○	目標・手立て記入 《確認》目標について ・目標は1つ。	20字×5行 3観点
	○		
保健体育	○	目標・手立て記入 《確認》目標について ・目標は2つ。	20字×10行 3観点
	○		3観点

・様式は掲載していませんが、後期が4ページ目、5ページ目となります。項目や記述内容は前期と変わりありません。

・以下の点で個別の指導計画と一致するため、家庭連絡簿(通知表)と兼ねています。

【通知表】

・児童生徒の学校における学習や生活の状況を定期的に保護者に連絡することにより、学校と家庭が協力して児童生徒の教育に当たろうとする目的で作成する。

(令和元年11月5日付「平成29・30年改訂の学習指導要領下における学習評価に関するQ&A」文部科学省)



■書籍の紹介

『二平方メートルの世界』 前田海音 文／はた こうしろう 絵 小学館

内容紹介

病室のベッドの大きさは、たて約二メートル、幅約一メートル。その周りをぐるりと囲うカーテンの中が入院中のわたしの世界のすべて——。

札幌に暮らす小学3年生の女の子、海音ちゃん。彼女は、脳神経の病気の治療のために、3歳の時から定期的に入退院を繰り返している。彼女は大抵の事は「わかっている」。なかなか効果の出ない治療だという事も、もっと痛い思いをして検査を受けている子がいるという事も、家族の住まいがバラバラになってしまう家があるという事も。どうしてわたしだけ、とは思わない。

だけど、やっぱりつらい気持ちになる事がある。孤独を感じたり、怖くなる

ことだってある。「もういや!」「薬を飲まなくていい日をください!」内から生まれるたくさんの言葉を飲みこむのは、家族みんな、それぞれが思いを抱えていることを知っているから。そんなある日、彼女の目に思わぬ光景が飛び込んできた……！

主人公は実在の小学5年生、前田海音さん。彼女が3年生の時に書いた作文が「子どもノンフィクション文学賞」を受賞し、絵本作家はたこうしろうさんとのコラボレーションにより、この一冊の絵本が誕生したのです。海音さんが見ている街や学校の風景、病院の様子。そして彼女の口から語られる言葉は、一つ一つどれも重みがあり、まっすぐに読む人の心に刺さってきます。けれどもそれは、悲しみだけではありません。私たちみんなが覚えておきたい、大切なことばかりなのです。

「ひとりじゃないよ」

ベッドの上で海音さんの見つけた大事な発見。この絵本を通して、きっとまた違う誰かに届いていきますように。

(絵本ナビホームページより引用)